

ふれあい

令和3年
7月

CONTENTS

- ご挨拶
- 新任職員のご案内
- TOPICS
 外来診療科のご紹介
 アドバンス助産師のご案内
- くまもとメディカルネットワークの
 ご案内
- 診療日程

特集

TOPICS 1 外来診療科のご紹介

TOPICS 2 アドバンス助産師のご案内

病院理念

国保水俣市立総合医療センターは、地域住民の皆様に「信頼され、期待され、選ばれる」病院となるために、以下のことに専念します。

- 患者中心の医療
- 安全で高度な医療
- 地域との連携
- 環境保全
- 健全経営

国保水俣市立総合医療センター
〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
TEL 0966-63-2101 FAX 0966-63-1393
ホームページ <http://minamata-hp.jp/>
QRコードからアクセスできます



管理者よりご挨拶



水俣市病院事業管理者
坂本 不出夫

新型コロナウイルス感染症の収束が見えてこない中、皆様には日々不安な生活を送られていることと思います。

水俣市立総合医療センターでは、感染症指定病院として感染病床確保・治療、発熱外来開設、外来検温チェック、病棟面会制限等対策・対応をとってきました。今後、ワクチン接種も行政・医師会・関係機関と協力して速やかに行えるよう努力してまいります。当センターは、地域急性期中核病院としての機能を果たすため、その充実に向け取り組んできました。先年の高度急性期病床（HCU）10床の開設によって、救急患者さんの受け入れ態勢が充実し、これからは脳梗塞患者さんの「血栓溶解療法（tPA療法）」も24時間体制で治療可能となりました。コロナ禍にあって、社会は急速にデジタル化が進んでおり、医療現場にもICT・AI・IOT等の最新技術を駆使して、医療の需要に応えようとする流れが来ています。

熊本県の保健医療計画にも一大プロジェクトとして「熊本メディカル・ネットワーク（KMN）」事業が加えられました。「地域医療構想」策定に委員として長く関わってきた立場から考えますと、地域医療の将来像は急性期拠点病院＋生活支援病院の構成が基本となり、医療・介護・福祉機関が連携していくような「地域包括ケア体制」になると予想しています。住民の皆様へのサービス提供には、個人情報保護を厳格に守り、的確で迅速な情報を必要とする関係機関で共有し対応していくことが重要です。芦北地域は、当初より「KMN」のモデル地域の指定を受け、この事業を展開し実績を上げてきました。

医療センターでは、丁寧な説明を心掛け皆様の不安を払拭するよう努めておりますので、ぜひこの機会に参加登録をしていただくようお願いいたします。時代の変化と共に医療を含む社会状況も変化していきますが、私たちは地域医療を守る（連携と機能分化）という使命を、全職員が共有して頑張っております。

当院は芦北水俣医療圏の24時間の救急体制を取れる急性期病院として、質の高い医療を提供するために診療環境の改善を進めております。

令和2年度を振り返ってみますと豪雨災害への対応やCOVID-19の影響で診療に大きな混乱がありましたが、その中でも粛々と医療体制の強化を進め、地域の救急医療に貢献できたと思います。まず、腎臓内科の診療が開始されたことで、芦北水俣医療圏内で専門的診療が受けられるようになりました。また電子カルテの更新を中心にネットワーク機能を充実させることができました。熊本メディカルネットワークの利用を促進すべく画像データの送受信を行う機能が強化され、それにより画像を共有した他院とのカンファレンスが実現するようになりました。

さて、本年度は脳梗塞に対し24時間いつでもrt-PA静注療法が可能な体制を整えることができました。各方面の努力で夜間の治療ができない時間帯が解消できました。脳梗塞治療の大きな進歩と言えるでしょう。また24時間の緊急手術を行える体制も再度整い地域に貢献できることとなりました。さらに、今年度内に3T MRIの更新や3D鏡視下手術の導入が行われる予定となっております。

今後も当院の基本理念である「患者中心の医療」、「安全で高度な医療」、「地域との連携」、「環境保全」、「健全経営」を実践し、患者さんに信頼され選ばれる病院を目指していますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

院長よりご挨拶



院長
阿部 道雄

令和3年度を迎えましたが、コロナは依然と猛威を振るっております。

国保水俣市立総合医療センターは熊本県南端の水俣・芦北医療圏における急性期中核病院として、その機能を果たしてまいりました。

令和元年6月に開設したHCU(10床)は、我々の予想より多くの患者を受け入れ、急性期医療のレベルアップに寄与しております。安全な術後管理、重症患者の受け入れなどで急性期医療の中心的病棟となっております。

令和2年7月豪雨時には、災害拠点病院としてDMATを受け入れ行政、保健所、医師会、消防等と協力し、被災された患者の入院、避難所で住民の体調管理、衛生管理、リハビリテーションなどを行いました。また被災された医療機関の入院患者を受け入れております。

昨年度より引き続きコロナ患者の発生時には感染症指定病院として、水俣芦北地区のみでなく、県内の他地域からも受け入れ行いました。

令和3年5月より、脳梗塞患者の24時間t-PA治療が可能となり、脳梗塞患者の予後改善が期待されております。

国保水俣市立総合医療センターは、急性期中核病院のみならず、災害医療、感染症対策なども並行して行えるような医療機関を目指し努力してまいります。

副院長よりご挨拶



副院長
廣瀬 豊樹

統括診療部長より ご挨拶



統括診療部長
楠 真一郎

熊本県の県南に位置する水俣市立総合医療センターには芦北、水俣の医療圏のみならず、県境を越え鹿児島県の出水市や伊佐地域からも多数の患者様が来院されており、長年にわたり地域の中核病院としての機能を果たして参りました。

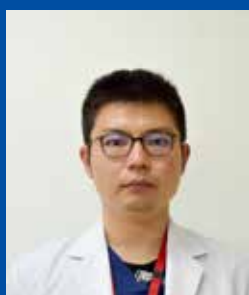
近年ではHCU(高度急性期病棟)を増設しより高度の急性期医療体制を充実させるとともに、引き続き24時間、365日の救急医療体制を維持存続させていきたいと考えています。

さて、世界的にコロナウイルスが感染拡大してから1年以上が経過しましたが、いまだ感染終息の見通しがたたないのが現状です。当院は20床のコロナ病床を有する感染症指定病院として日々の診療に勤しんでおりますが、昨年度はクラスター発生の憂き目に遭い、感染症対策の難しさを痛感いたしました。再度身を引き締めなおして感染症対策を行い、ワクチン接種に関しましても速やかな接種が行えるよう配慮し、地域住民の皆様の健康を守っていききたいと考えています。

新任職員のご紹介

4月1日より新たに赴任しました職員を紹介します。

医師



整形外科 医長
いしまつ かずあき
石松 憲明



歯科口腔外科 医長
こじま たく
小島 拓



消化器内科 副医長
いえき うきと
家城 宇希人



呼吸器内科 副医長
たまの いだいすけ
玉野井 大介



小児科 副医長
かたやま だいすけ
片山 太輔



外科 副医長
ほりのうち とも
堀之内 誠



整形外科 副医長
みつせ ようすけ
満瀬 葉介

他4名

整形外科	1名
皮膚科	1名
脳神経外科	1名
代謝内科	1名

看護師



看護師
やまうち みずき
山内 瑞稀



看護師
とおやま くるみ
遠山 胡桃



看護師
まつだ みゆ
松田 実優

他1名

看護師	1名
-----	----

事務



医事係 主任
やまだ だいご
山田 大悟



総務係 主任
ふちがみ まり
湧上 真理

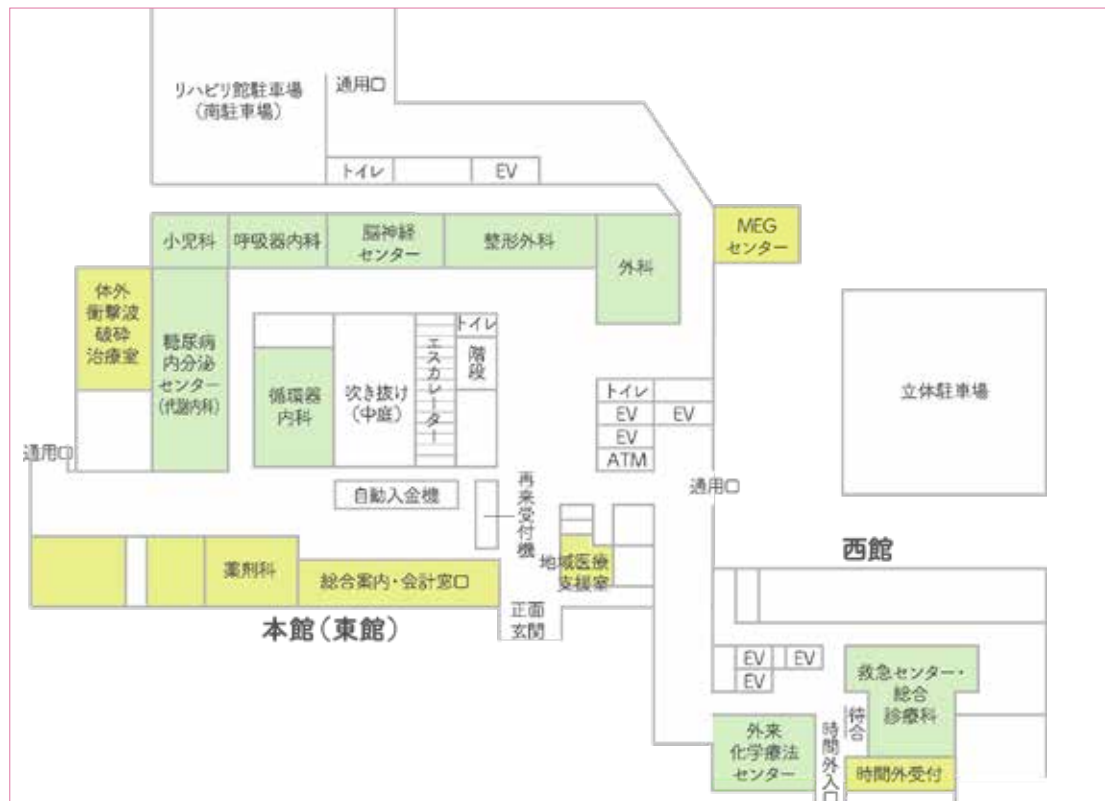


総務係 主事
たにぐち りな
谷口 莉菜

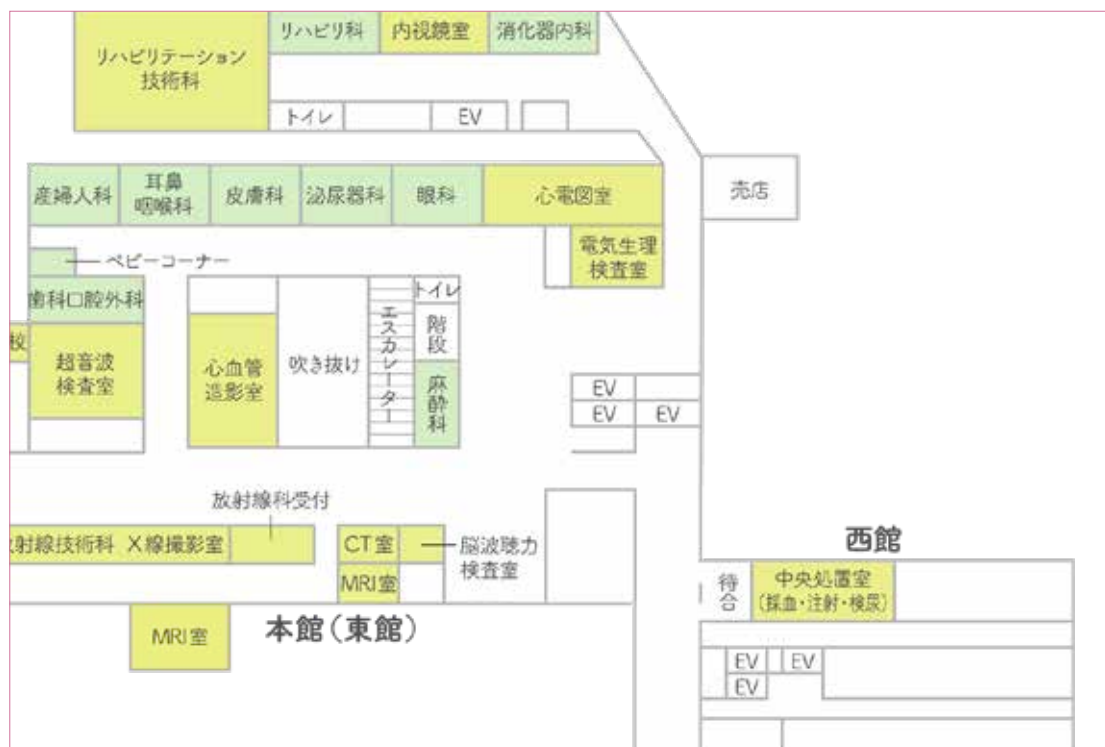
1 外来診療科のご案内

当院では19診療科を掲げており、診療科ごとに専門的な治療を行っています。
今回は数ある診療科の中でも、皆様に「もっと知っていただきたい」診療科をご紹介します。「どの診療科に受診したらいいか」などをご紹介しますので、是非目を通してみてください。

外来案内図（1階）



外来案内図（2階）



TOPICS

外科



統括外科部長
ながい ようへい
長井 洋平

外科は常勤5名で診療を行っています。また、大学病院から毎週2回、診療応援医師が来ています。当院では2019年度より急性期病床であるHCU（ハイケアユニット）10床が稼働し、より充実した重症管理が可能となっており、あらゆる外科疾患に二十四時間対応できる体制を整えています。

外科の手術は緊急から癌の手術まで幅広く行っています。特に、この数年は大学からの手術応援を得て、腹腔鏡手術に力を入れています。腹腔鏡手術は小さな傷でより精密な手術が可能で、根治性を保ちながらも入院期間が短縮され社会復帰が早くなるというメリットがあります。大きな手術を受けた後は、状態やご希望に合わせ回復期療養病棟で十分にリハビリを受けることができます。

私達は安全性、根治性、先進性のバランスを常にとりながら住む人のために尽くす外科をモットーに皆で頑張っていますので、いつでもご相談いただければと思います。



整形外科



診療部長
みやざき まこと
宮崎 信

整形外科では現在、7名の医師で診療を行っています。外来は、月曜から金曜の週5回で、関節リウマチ、骨粗鬆症^{しょう}、膝痛や腰痛などの変性疾患、骨折等の一般外傷など幅広く対応しています。2007年に日本整形外科学会がロコモティブシンドロームの概念を提唱し、を「運動器の障害により移動機能の低下をきたした状態」と定義しました。健康寿命を延伸し介護予防につなげるためには、ロコモ対策が重要となりますので、当院外来では、自宅でできるトレーニングなどを紹介したパンフレットをお渡ししています。

当院に特徴的な手術として、変形性肩関節症に対してリバーズ型人工肩関節置換術、軽度から中程度の変形性膝関節症に対して高位脛骨骨切り術^{けい}や人工膝単関節置換術（UKA）を行っています。手術が終わってからほどなくして退院ということはなく、しっかりとリハビリもしていただいています^{ようつい}ので、ご安心下さい。腰椎の圧迫骨折など、一般的には保存的治療の対象となる疾患も、入院加療行っています。

これからも引き続き地域住民の方々に安心、安全なまた地域のニーズに沿った医療を提供できるように心がけていますので、何かありましたら、お気軽に整形外科外来へご連絡下さい。



呼吸器内科では常勤医師 3 名で外来診療と入院診療を行っています。呼吸器内科でよくみる症状としては、発熱、咳、痰・^{たん}血痰、息切れ、胸痛などがあります。これらの症状が長引くようでしたら、当院呼吸器内科を受診・紹介して頂ければと思います。当院呼吸器内科では肺癌および呼吸器感染症（肺炎など）を中心に、気管支喘息、肺気腫、急性呼吸不全、慢性呼吸不全、その他呼吸器疾患全般を対象にしています。

胸部レントゲンで異常な陰影を指摘された患者さんに対しては、必要に応じて気管支ファイバー検査を行い、必要であれば CT やガイド下肺生検も行っています。慢性呼吸器不全の患者さんに対しては、各種内服や吸入療法の他、リハビリや在宅酸素療法や鼻マスクによる在宅人工呼吸も行っております。睡眠時無呼吸症候群に対しては、1 泊 2 日入院によるポリソムノグラフィー検査を行ったうえで治療を開始しています。

また、原因がわからない熱に対しては、院内・院外から紹介されることがあり、呼吸器疾患以外にも^{こうげん}膠原病、^{すいまく}血管炎、髄膜炎、感染性心内膜炎、腸炎、血液腫瘍などにも対応可能ですので、**原因がはっきりしない熱があれば当院呼吸器内科を受診・紹介して下さい。**

その他にも癌の患者さんで、治療、痛み、心の悩み、仕事のなどの様々な悩みに対しても、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定医がいますので、気兼ねなく受診・紹介して頂ければと思います。



呼吸器内科



呼吸器内科 部長
えいだ ひろふみ
榮田 浩文

脳神経外科では、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍^{しゅよう}、機能的脳疾患などの疾患に対して常勤脳神経外科医 2 名体制で診療を行っています。特に当院には最新式の外視鏡という機器が導入されており、**熊本県の脳外科では初の導入**となります。慢性・突然の頭痛、吐き気、嘔吐、視力・視野（しや）障害（しょうがい）、聴力低下、けいれん発作、痴呆、めまい、耳鳴り、四肢麻痺（まひ）、四肢のしびれ・感覚障害、歩行障害、排尿・排便障害、顔面のピクツキ、顔面の痛みなど、**気になる症状があればご相談ください。**当科では最新の手術器具が装備されており、手術を含めた脳神経外科疾患治療の経験豊富な医師により、**ほぼすべての脳神経外科疾患に対して 24 時間対応**しています。

また、毎週金曜日にはもの忘れ水頭症外来（要予約）を開設しています。足元がふらつきよく転ぶ、最近もの忘れがひどい、おしっこを我慢できる時間が非常に短くなったといった症状のある方は、特発性正常圧水頭症（iNPH）の可能性があります。気になる症状がある方は、脳神経外科までご相談ください。



脳神経外科



脳神経センター センター長
たじり せいじ
田尻 征治

TOPICS

循環器内科



循環器内科 部長
うえむら ともあき
上村 智明

心臓および心臓からの血流を全身に届ける血管を合わせて循環器といいます。私たち循環器内科では心臓および血管の病気について診察、治療を行っています。

心臓の病気としては心臓に栄養を送る血管が詰まる狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、脈が早すぎたり遅すぎたりする不整脈、心臓にある4つの部屋の仕切り(弁)の働きが悪くなる弁膜症、それらの疾患が進行して心臓の機能が悪化して起こる心不全などの診療を行います。血管の病気としては足の血管が詰まる閉塞性動脈硬化症や、エコノミークラス症候群として知られる深部静脈血栓症・肺動脈塞栓症などの診療を行っています。

平日は常勤医3名と非常勤医2名での外来診療を行っています。夜間でも救急外来と連携して、急性期の対応が必要な疾患については24時間対応可能な体制をとっています。心臓の疾患は放置すると命に関わることがあります。動悸や息切れ、動いたときの胸の苦しさ、足が腫れる、運動をすると足が痺れるなど、気になる症状があればご相談ください。



歯科口腔外科



歯科口腔外科 部長
おぎ ひでなお
尾木 秀直

当科は、熊本県南・北薩地域(鹿児島北部方面)で唯一の入院や全身麻酔下での手術が可能な口腔外科専門の診療科として、2002年(平成14年)に開設されました。2次医療機関として、専門的な医療に対応するとともに、熊本大学病院や鹿児島大学病院とのスムーズな連携も行ない診療に当たっております。

抜歯などに際し『怖くない口腔手術』『我慢しなくてもいい口腔手術』のために静脈内鎮静法(点滴注射麻酔)も用いています。静脈内鎮静法を用いると、少し眠たい状態でリラックスして手術を受けることが出来ます。術前・術後の体調管理のため1泊2日の入院となります。適応などについては担当医にご相談下さい。

口腔がん(口腔がん疑いも含む)の患者様は早期発見・早期治療の体制を整えており、優先して診療・治療を行っております。また、心理的・社会的なサポート体制も医療センターとして整えておりますので、心配な点や不安な点などございましたら、何なりと担当医やスタッフへご相談ください。

当科は完全予約制で、かかりつけ歯科医院と連携をとって治療に当たる口腔外科専門の診療科のため、虫歯の治療や被せ物の作製および歯周病の治療は行っておりません。また、紹介状のない初診は初診時選定療養費として3,300円が別途かかります。ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



脳神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科です。現在は2人体制で外来・入院診療を行っております。脳神経内科を受診される患者さんの主な症状として、しびれやめまい、うまく力がはまらない、歩きにくい、ふらつく、つっぱる、ひきつけ、しゃべりにくい、ものが二重に見える、頭痛、かつてに手足や体が動いてしまう、ものわすれ、意識障害などたくさんあります。診療の対象となる疾患は、脳梗塞や髄膜炎/脳炎、パーキンソン病、認知症、末梢神経障害、一次性頭痛（片頭痛、緊張型頭痛など）など多岐にわたります。

脳梗塞とは、脳の血管が詰まって脳の血液の循環に障害をきたし、様々な症状を起こす病気です。脳梗塞は「専門性」と「時間との闘い」の2つの面を両立させる形で対応しなければならない疾患です。脳の血管に詰まった血栓（血の塊）を注射で溶かすことができる薬（t-PA）があり、発症から4時間30分以内にこの薬を注射できれば、脳梗塞が劇的に良くなる可能性があります。一方で、この薬は出血を起こしかえって症状を悪化させることもあり、この薬を使用できる施設や医師の基準が定められています。この薬による治療が24時間365日可能な施設を、日本脳卒中学会は「一次脳卒中センター」として認定し、公表しています。当院もこの「一次脳卒中センター」に認定されており、超急性期脳梗塞の対応が可能です。

脳梗塞はより早期に治療を開始すると後遺症が軽くなることがある救急疾患です。少し前までどうもなかったのに、突然出た麻痺・しびれ、呂律が回らない・言葉が出ない、頭痛などの神経症状が現れた場合は脳梗塞の可能性があります。少しでも脳梗塞を疑った場合は可能なかぎり早く病院を受診しましょう。

脳神経外科



脳神経内科 部長
井 建一郎



眼科は、常勤医師1名、熊本大学病院からの非常勤医師2名、看護師1名、視能訓練士1名、医療事務1名で診療を行っています。

結膜炎や麦粒腫等の眼表面疾患から、白内障や緑内障、および、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性などの網膜疾患まで幅広く診療をてがけています。糖尿病などの全身疾患については当院他科と連携しながら診療を行っており、また、当院のみでは対応困難な症例については、熊本大学病院など他院との連携をとって診療にあたっています。白内障に関しては、手術を行っていない診療所からのご紹介の患者様も多数いらっしゃいます。

当科は完全予約制です。また、他の眼科に通院したことがある方には、よりの確な診断、治療方針の策定のため、診療情報提供書（紹介状）の持参をお願いしておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

眼科



眼科 部長
上田 祥太郎



代謝内科



代謝内科 部長
さだ きみのり
佐田 公範

代謝内科（糖尿病・内分泌センター）は糖尿病・高血圧症・脂質異常症・肥満症といった動脈硬化など様々な合併症を引き起こす慢性疾患に加え、甲状腺・副腎・下垂体といったホルモンを分泌する臓器に起こる疾患（内分泌疾患）を診療しています。その中でも糖尿病の患者さんが一番多く通院されています。

糖尿病は自覚症状には乏しいものの、進行すると腎不全が進行し透析導入を余儀なくされますし、気づかないうちに網膜に異常が生じて視力が低下してしまうことがありますので、病気が進行する前に発見・治療することが非常に重要です。また糖尿病の方は高血圧や脂質異常症を合併する頻度が非常に高いですから、そちらの治療も同時に行う必要があります。

1型糖尿病や罹病期間の長い2型糖尿病といったインスリン分泌能が低下した患者さんには、インスリン導入が必要となることがあります。当院には糖尿病療養指導士の資格を持った看護師、管理栄養士や薬剤師が多数在籍しており、また糖尿病看護のスペシャリストである糖尿病看護認定看護師が外来に常駐しており、患者さんの不安や疑問に寄り添いつつ丁寧に導入をすすめることができます。

現在、診療は完全予約制となっているため受診には紹介状が必要です。コントロールの困難な糖尿病や診断の難しい内分泌疾患など、お困りの際にはいつでもご相談ください。これからも熊本県南や北薩地域の患者さんの健康のため、力を尽くして参ります。



放射線科



統括診療部長
兼放射線科 部長
くすのき しんいちろう
楠 真一郎

当施設は日本医学放射線科学会専門医修練協力機関に認定されています。放射線科診断専門医1名、放射線科専門医1名の計2名が常勤し、また、放射線科診断専門医1名が非常勤医師として勤務しています。一般検査（単純X線検査）、CT、MRI、核医学といった検査により、診断、治療に必要な情報を提供するだけでなく、血管造影による肝癌、膀胱癌、頭頸部癌の治療および外傷による骨盤骨折や産後出血の止血など緊急処置も行っています。患者様の診察、治療が適切に行われる手助けとなるように正確な画像診断を心がけるとともに、肝細胞癌、膀胱癌、頭頸部癌の治療、外傷や産後出血の止血においてはよりよい治療成績を挙げられるよう頑張っていきたいと考えています。

令和元年度には肺癌CT検診の施設認定を熊本県にて初めて取得いたしました。続く令和2年度はマンモグラフィーの施設認定を取得しています。また女性スタッフの数を増やして、女性が検査を受けやすい環境作りを進めています。特にマンモグラフィー撮影は全例女性スタッフが対応しており、安心して検査を受けていただけるよう心掛けています。



当院の消化器内科で取り扱う疾患は消化器疾患全般にわたり、救急医療から一般診療に対応しています。

消化器疾患としては消化管疾患、胆道・膵疾患、肝臓疾患の全領域を扱い、ある程度の疾患までは検査から治療までを当院で完結することができます。消化管疾患としては、悪性腫瘍、胃・十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患などがありますが、特に内視鏡の早期診断・治療に力を入れており、カプセル内視鏡とダブルバルーン小腸内視鏡も完備しておりますので、小腸精査から治療まで当院で行うことができます。また、胃十二指腸潰瘍や食道静脈瘤出血、大腸憩室出血などの消化管出血や腸閉塞などの救急疾患に対して24時間対応できる体制を整備しています。

当院では外科、放射線科との院内連携が密に行われており、患者様に最適な治療を提供できるように心掛けております。また、院外では熊本大学病院消化器内科とも密に連携しており、難しい症例であっても最新の知見を踏まえた診断・治療を迅速に提案することが可能となっております。

地域の皆様には常に患者様の視点に立ち、安心・安全を基本にして最適な医療を提供できるように心掛けてまいりますので、近隣の医療機関の先生方も何かございましたら当院までご紹介下さい。

消化器内科



消化器センター長 部長
なりた れい
成田 礼



当科は蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎などの皮膚疾患、アレルギー性疾患についての診療を行っております。また、皮膚腫瘍に対する手術も行っております。当科での治療が難しい疾患は熊本大学病院皮膚科と連携して対応することも可能です。

皮膚科の主な疾患として、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、白癬（みずむし、たむし）やメラノーマ（ほくろのがん）などが挙げられます。特にメラノーマ（ほくろのがん）は悪性黒色腫とも呼ばれ、非常に悪性な皮膚がんです。早期に発見できれば治すことも可能ですので、次のポイントに気をつけていただければ幸いです。

1. 年に1回は全身の皮膚のほくろやしみをチェックする。自分で見えない等は粒や背中ではご家族に見てもらう。

2. 以下のような特徴があるほくろやしみがあれば、皮膚科にご相談ください。

形が左右対称性でない。まわりがギザギザしている。色が均一でなく、濃淡が混じっている。直径が6mm以上である。

その他、皮膚科には様々な疾患が存在します。皮膚は目に見える部位ですので、ご心配なことがあれば、気軽に皮膚科にお問い合わせください。

皮膚科



皮膚科 部長
たにがわ ひろき
谷川 広紀



2 | アドバンス助産師のご案内

当院では、「アドバンス助産師」を認証された助産師4名を含めた8名の助産師が活躍しています。アドバンス助産師とは、日本助産師評価機構によって助産実践能力を審査され、助産に関する知識や技術を磨き向上できているかなどが評価されたものです。

医師・看護師をはじめとした
多職種によるサポート体制
月3回マザークラスを開催しています。
当院に在籍する多職種のスタッフに
よる個別相談にも応じています。
※初回のみ参加費500円が必要です。

思い出に残る
あなたらしいお産をサポート
家族みんなで理想のお産を思い描く
「バースプラン」に記入いただけます。
生まれてくる赤ちゃんへのメッセージ
など何でもご記入ください。

産後ケア事業の取り組みで
お産後もお手伝い
熊本市と芦北町と提携し、産後ケア事業
を取り組んでいます。また、分娩2週間
後健診、親子すこやか外来もお受けして
います。地域の保健師と連携を図って
サポートさせていただきます。

私たち助産師は妊産褥婦や申請時に対して、良質で安全・安心な助産とケアを提供できるように努めています。妊娠中からお産後まで、骨盤ケアや乳房マッサージを得意とする経験豊富な助産師がおり、お母さんに寄り添ってサポート致します。

医師に聞きにくいこと、不安なことなど何でもご相談ください。



西3病棟 看護師長

たなか せいこ
田中 聖子



くまもとメディカルネットワーク

**医療センターを受診される
みなさまに参加登録を
お願いしております（無料）**



**医療センターは、このネットワークを活用して
地域の医療機関とスムーズな連携を行うために、
かかりつけの医師や薬剤師、看護師、医療スタッフと
情報共有し、多職種連携を行っています。**



情報を共有



この検査は別の医療機関で既に済んでいますね。
データを確認してみましょう。



先生にも見ていただければ安心ですね。

〇〇医療機関に紹介状を書いた
患者さんのその後の経過は・・・

もうすぐ
退院ですね

お世話に
なりました



うん、順調に回復
しているね。

問い合わせ先：0966-63-2101(代)
内線595、PHS:8902・8581
情報企画室 くまもとメディカルネットワーク担当

国保水俣市立総合医療センター外来診療のご案内

午前診療 8：30 — 12：00（受付 8：00 — 11：00）
午後診療 14：00 — 17：00（受付 13：30 — 15：00）

令和3年7月現在

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	診察	田代 康正 玉野井 大介	田代 康正 榮田 浩文	榮田 浩文 非常勤医師	玉野井 大介 榮田 浩文	田代 康正 玉野井 大介
	午後	検査	気管支内視鏡	—	気管支内視鏡	—	—
脳神経外科	午前	診察	田尻 征治 担当医	手術	徳田 高穂 担当医	田尻 征治 徳田 高穂 脳ドック（担当医）	もの忘れ水頭症外来 田尻征治・徳田高穂 担当医
	脳神経内科	午前 診察	井 建一郎	植田 明彦 （10:00～14:00） （完全予約制）	池田 知聡	井 建一郎	池田 知聡
MEG センター	午後 診察	—	—		—	—	—
消化器内科	午前	特殊検査（脳磁計）	（予約）中村 政明				
	午後	診察	成田・園田	森田・家城	堀尾・東	森田・堀尾・坂本	成田・家城
		消化管透視検査	—	—	—	阿部 道雄	—
		消化管内視鏡検査	堀尾・家城	奈良板・堀尾	森田・家城	成田・家城・溝部	森田・堀尾・外科担当医
		腹部超音波検査	森田	—	成田	—	—
循環器内科	午後 検査	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	
	午前 診察	老松 優 廣瀬 豊樹	老松 優 廣瀬 豊樹	丸山 英樹 上村 智明	丸山 英樹 非常勤医師	上村 智明 廣瀬 豊樹	
糖尿病・内分泌センター 代謝内科	午後 診察（要予約）	—	（ペースメーカー外来） 担当医	丸山 英樹	丸山 英樹	廣瀬 豊樹	
	午後 診察（予約のみ）	佐田 公範 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄（第2・4週） 吉田（第1・3・5週）	古庄 正嗣 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄 正嗣	佐田 公範 （第2週）吉田 知史 古庄 正嗣	
		佐田 公範 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄（第2・4週） 吉田（第1・3・5週）	吉田 知史 藤澤 和夫 —	佐田 公範 藤澤 和夫 —	佐田 公範 （第2週）吉田 知史 古庄 正嗣	
		榎木 仁 非常勤医師	榎木 仁 三洲（第2週） 黒澤（第1・3・4・5週）	黒澤 孝一 非常勤医師	岡本 ユカ 片山 太輔	片山 太輔 榎木 仁	
		（喘息外来） 担当医	（予防接種） 担当医	（喘息外来） 担当医	（1ヶ月検診） 担当医	神経外来（第1週） アレルギー外来 （奇数月第2週）	
外科	午前 診察	長井 洋平 志垣 博信 堀之内 誠 担当医	坂本不出夫（9:00～） 志垣 博信 — 担当医	坂本 不出夫 阿部 道雄 — 担当医	（新患・コンサルタント） 担当医 — — 担当医	阿部 道雄 乳腺 — 担当医	
	午後 診察	宮崎 信 沼田 亨祐 棚平 健 満瀬 葉介	石松 憲明 沼田 亨祐 中島 三郎 島田 真樹	石松 憲明 棚平 健 中島 三郎 島田 真樹	宮崎 信 棚平 健 中島 三郎 満瀬 葉介	宮崎 信 沼田 亨祐 石松 憲明 島田 真樹	
		午後 診察	—	—	—	—	—
リハビリテー ション科	午前 診察	—	—	馬場 敦子 毎月第1・3水曜日	—	岩永 壮平	
皮膚科	午前 診察	谷川 広紀 中原 智史	谷川 広紀 中島 香織	非常勤医師 —	谷川 広紀 中原 智史	中島 香織 中原 智史	
	午後 診察	—	—	手術	—	手術	
泌尿器科	午前 診察	（新患） 三浦 太郎 （再来） 岩下 仁	三浦（第1・3・5週） 渡邊（第2・4週） （再来） 岩下 仁	（新患） 渡邊 祐 （再来） 岩下 仁	— （再来） 三浦 太郎	（新患） 岩下 仁 （再来） 渡邊 祐	
	午後 診察 特殊検査・手術	（予約）担当医					
腎臓内科	午前 診察	—	—	—	小野（第2週） 丸山（第4週）	—	
産婦人科	午前 診察	（新患） 宮村 伸一 （再来・妊婦健診） 松井 幹夫 （人間ドック） 担当医	（新患） 松井 幹夫 （再来・妊婦健診） 宮村 伸一 （人間ドック） 担当医	（新患） 宮村 伸一 （再来・妊婦健診） 松井 幹夫 （人間ドック） 担当医	（新患） 松井 幹夫 （再来・妊婦健診） 宮村 伸一 （人間ドック） 担当医	手術 —	
	午後 診察	手術	（妊婦検診） 宮村 伸一	（人間ドック） 担当医	（妊婦検診） 宮村 伸一 （妊婦検診） 松井 幹夫	（再来） 宮村 伸一 （再来） 松井 幹夫	
	眼科	午前 診察	上田 祥太郎	上田 祥太郎	上田 祥太郎 非常勤医師	上田 祥太郎	上田 祥太郎
耳鼻咽喉科	午後 診察	特殊再来	特殊再来	手術	特殊再来	特殊再来	
	午前 診察	—	非常勤医師	—	—	非常勤医師	
放射線科	午後 診察	非常勤医師 （13:30～15:00）	—	—	—	—	
	午後 診察（紹介患者のみ）	楠 真一郎・近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	
歯科口腔外科	午前 診察 （初診は午前中のみ）	尾木 秀直 小島 拓	尾木 秀直 小島 拓	尾木 秀直 小島 拓	休診	尾木 秀直 小島 拓	
	午後 診察 （再診及び入院患者の 初診のみ）	尾木 秀直	休診	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直	
	午後 診察	小島 拓	休診	小島 拓	小島 拓	小島 拓	